



同窓会会長
神谷 政義
(農学部・S41年)

農学部同窓会員の皆様には、日頃母校の学術並びに同窓会活動に格別のご理解とご協力を賜り、心から感謝とお礼を申し上げます。

さて、平成17年度は、農学部が春日井市鷹来の野に誕生し50余年、農学部同窓会設立50周年という記念すべき節目の年になりました。卒業生は16年度(52回生)をもちまして1万余名を輩出し、当地区唯一私立の総合大学として年々充実・発展を遂げてきました。

また、本年4月より農学部は既設の「生物資源学科」、「応用生物化学科」に加えて、新しく「生物環境科学科」を設置し、21世紀国内外で活躍できる有能な人材育成を目指してスタートしました。

同窓会員の皆様には、このように飛躍的發展を遂げつつあるわが母校農学部の大きな節目に一同に会して旧交を温め、共に50年を祝福し、同窓の絆を一層強固なものにして頂きたいと思っております。

来る10月2日(日)は、午後より17年度農学部同窓会総会並びに50周年記念式典を天白キャンパスで開催いたします。会員の皆様、挙って母校に足をお運び頂きたいと思っております。

終わりに、同窓会員の皆様のご健勝とご活躍、併せてご多幸を祈念してご挨拶いたします。

学部だより

人事異動

退職 (平成17年3月31日)

植物資源学研究室	橋本 実 教授
天然物有機化学研究室	山田 哲也 教授
花卉造園学研究室	平井 潤 講師

橋本先生は昭和31年に名城大学をご卒業後、翌年遺伝育種学研究室の助手に採用され、昭和45年には助教授に昇格されました。昭和55年に植物学研究室(植物資源学研究室)に移籍され、名古屋大学で学位を取得後、昭和57年に教授に昇格されました。平成5年からは4年間農学部長の激務をこなされまし

た。まさに半世紀の間、農学部を支えてこられました。また、農学部同窓会の設立発起人のお一人でもあります。

山田先生は平成11年に三重大学を退官された後、天然物有機化学研究室に教授として着任されました。在任期間は6年間でしたが、自己評価点検委員長などでご活躍になりました。

平井先生は昭和61年に名城大学大学院を修了し、花卉造園学研究室に助手として採用され、平成10年に講師に昇格されました。残念ながら今回、諸般の事情で退職されました。



右上：橋本 実名誉教授
左上：山田 哲也教授
下：平井 潤講師



採用 (平成17年4月1日)

植物保全学研究室	坂 齊 教授
天然物有機化学研究室	松儀 真人 助教
花卉造園学研究室	津呂 正人 講師

坂先生は農水省研究機関と大学で、イネを中心に子実生産生理学研究に取り組んでこられました。今後は環境保全型農業の展開を中心に、環境保全や生物多様性の課題と取り組むそうです。

松儀先生は大阪大学やピッツバーグ大学など、ユニークな経歴をお持ちです。生理活性物質を合成するための新しい化学反応手法の開発を研究されているそうです。

津呂先生は京都府農業資源研究センターを経て採用されました。さまざまな園芸作物の香りの改良をめざして、遺伝子組換えや組織培養などを組み合わせて研究を行っているそうです。

訃報

元農学部助教授、川添文雄氏と、元農学部事務長、佐野豊一氏(いずれも第5期)が亡くなりました。心よりご冥福申し上げます。

学部改組と学生募集

農学部は平成17年4月から生物資源学科、応用生物化学科、生物環境科学科の3学科体制になりました。学生定員は各学科とも100名です。

また、11月に実施される推薦入試では、卒業生の子を優先的に合格させる制度がようやく導入されることになりました。卒業生の子なら必ず合格する制度ではありませんが、合否判定で有利な取り計らいが行われるようです。(本会報10頁をご覧ください。)

農学部5号館ともお別れ

農学部5号館が平成18年2月からいよいよ取り壊されます。共通講義棟北館が平成17年夏に完成した後、とりあえず5号館の北側半分が取り壊しとなります。

5号館回顧録

編集委員 佐藤厚一(18期)

私が3回生となった秋に、校舎が鷹来から天白の5号館へ移転した。施設・機器類などが整った真新しい校舎で学べることは至福の喜びであり、勉強にも自然に熱が入った。友達の多くは、卒業まで後1年なので、下宿を家賃の安い鷹来に残したまま、天白まで通学していた。

私は、肥料学研究室で卒業研究に取り組み、実験の合間には囲碁・将棋に興じたり、結構楽しい学生生活を送っていたが、学生運動に走るものもいた。研究室対抗のソフトボールの試合が良く行われ、僅かなお金でコーラやビールを賭けて皆必死で白球を追った。

物は無かったが、時間だけが余っていたあの頃、人と人とのつながりに暖かさを感じていたあの頃が、今となってはとても懐かしい。5号館と共に青春の思い出が消えてゆくことに一抹の寂しさを感じるこの頃である。